

要約

ここ数年、世界規模で企業の合併、買収、営業譲渡、資本参加等いわゆるM&Aは中心に活発になっている。M&Aとは「合併と買収」と訳される。特定の分野や事業で協力する提携、事業の売却などによる経営の再構築もM&Aに含まれる。M&Aはグローバル化の進展や経済発展に伴う投資活動を効果的に評価し、IT社会の進展等の経済環境の急速な変革の時代に対応して新しい持続的な経済社会を構築するために不可欠な手段である。

現在、中国企業のM&Aが高度成長している中国経済とともに注目を集めつつある。しかしながら、これまでのところ外国では中国のM&Aに関する事情は新聞報道でしか紹介されていない。中国におけるM&Aに関する研究は世の中では零細なものがある。中国では、M&A制度は、国有企業改革、外資の吸収、外資企業との提携、国有企業の民営化の重要な手段として利用されている。よって本論文では、まず、M&Aについて関連概念と基本知識から紹介する。現在、中国におけるM&Aの発展の背景と現状を把握しながら将来に向けて展望する。とくにハイアールのM&A事例の分析から中国の特殊なM&Aの背景である国有企業改革、証券市場の法整備および国有株の非流通の構造的な問題を考察する。また、中国政府は、国有企業改革と外資導入という経済活性化のために、会社法、証券法等のM&Aに関連する法律体系に存在する不備を補うべく、「規定」、「規則」を次々と制定して、M&A法整備に積極的に取り組んでいる。この機会に中国におけるM&Aの発展を研究することは大きな意義があると考えられる。

本論文ではM&Aというものに通じて、中国には特有な社会主義市場経済との結ぶ道を探し出す。資本主義市場経済に適応したやり方と中国におけるM&Aの現状と詳しく考査し、特殊な社会経済構造とM&A法制との相互関係の究明という視点に基づき分析を展開する。中国におけるM&Aの発展とM&A法制の根本的な性質を解明することを本論文において試みる。